

高齢者・障害児者の心を癒すポケットオルゴールの開発と寄贈活動

南九州大学 人間発達学部 子ども教育学科 山之内研究室

〒885-0035 宮崎県都城市立野町 3764-1

助成事業の概要

1. 目的

これまでに全国193の障害者施設等へ、1672個のポケットオルゴールを製作し、寄贈してきました（2024年11月13日現在）。今回の事業目的は、主に宮崎県内の高齢者施設を対象に寄贈活動を行うことです。

そして寄贈活動を通して高齢者・障害者にとってより好まれるポケットオルゴールを開発することです。

2. 時期

2024年4月～12月。通年で実施。

3. 内容

未だ寄贈していない宮崎県内のいくつかの高齢者施設（特別養護老人ホーム）に寄贈を打診し、寄贈を受け入れを承諾して下さった施設へポケットオルゴールを9個ずつ贈りました。そして寄贈先から送られてくる意見や要望を基にポケットオルゴールの使い勝手、デザイン、選曲等を検討し、障害児者や高齢者にとってより好まれるポケットオルゴールに近づけていくよう工夫・改良しました。9個の中には試作品のポケットオルゴールも含まれ、使い勝手をよくするための補助具も1個加えました。

1、鹿児島県1、宮崎県9、長崎県1、福岡県1、岐阜県1、静岡県1、山梨県1）。総製作・寄贈数は140個です。施設の内訳は高齢者施設（特別養護老人ホーム）9、重症心身障害児者施設5、障害者施設1、特別支援学校1です。寄贈個数は特別支援学校5個、他施設は各9個です。

2. 寄贈先から感想（一部抜粋して紹介）

- 皆様笑顔で音を聞いており、オルゴールの音と一緒に「愛燦燦」や「どんぐりコロコロ」を口ずさんでいました。今後も入所者様の余暇時間などに活用していきたいと思います。（宮崎県 高齢者施設）
- この度は、心のこもった手作りのオルゴールをいただき有難うございます。箱を開けると、思いがけずたくさんのオルゴールが顔をのぞかせ、丸みのある形や木のぬくもりに大変感激致しました。皆様の活動が4年目を迎えられ、当事業所へ優しい音色とお気持ちを届けていただいた事に、改めて感謝申し上げます（福岡県 重症心身障害児者施設）。
- 昨日、眠っていることが多い子どもにオルゴールを聴かせてみました。すると子どもが自分でしっかり両手で持って耳元に持っていく、静かに聞いていました。この子どもの好きなものが初めてわかって嬉しかったです（長崎県 特別支援学校）

事業の成果

1. 寄贈施設数及び個数

本事業で寄贈した施設数は16です（沖縄県

3. その他の成果

1. 新しいポケットオルゴールの開発

寄贈先からの感想をもとに、より使い勝手のよいポケットオルゴールの開発のヒントを得ることができました。

2. 協力者が増えた

高校生がボランティアとして11人参加しました。これを契機に、今後、大学生と高校生がコラボレーションしてこの活動を続け、活動の輪が広がっていくことが期待できます。

3. マスコミ報道

地元の新聞（南日本新聞）で活動の一端が紹介されました。反響があり、障害児を持つ保護者からの問い合わせ、高齢者サロンからのお誘い、児童の工作教室の依頼がありました。また地域の木工製作会社から材料製作の協力の申し出もありました。

■ 成果の広報、公表

1. 「ポケットオルゴール1500個寄贈 南九州大・山之内准教授が開発」

南日本新聞 2024年8月11日（日）18面掲載

2. 「4年間のポケットオルゴールの製作と寄贈活動のまとめ」九州教育学会第76回大会（熊本学園大学）発表 2024年11月10日（日）

3. 「都城にこにこクラブ ～みんなで楽しむおもちゃとゲームづくり～」同クラブのパンフレットを作成し、寄贈先等への配布 通年

4. 「ポケットオルゴールの製作と寄贈活動 ～高校生ボランティアと共に～」日本社会福祉学会九州ブロック大会（鹿児島国際大学）発表 2024年12月22日（日）

5. 「肢体不自由児及び重度重複障害児の子供た

ちの指導・支援の仕方、教材について ～ポケットオルゴールの紹介～」鹿児島県立加治木特別支援学校研修会講師 2024年12月25日（木）

6. 寄贈先公式HPでの紹介あり（南九州大学 ポケットオルゴールで検索）

■ 今後の展開

1. 新たなポケットオルゴールの開発

手指にまひのある方でも簡単にねじを巻くことのできる回転式ポケットオルゴールと環境に優しいバイオカプセルを用いたポケットオルゴールの開発を行います。今後も選曲、デザイン、使い勝手等、寄贈先からの意見や要望を聞きつつ、よりよいものに近づけていきます。

2. 地域の福祉活動としての取り組み

高校生のためのボランティア講座として2カ月に1回程度、製作・寄贈活動を行います。同時に参加した高校生にこの活動の意義を知ってもらい、「都城にこにこクラブ」の活動の地域の福祉活動として育っていくことを期待しています。来年度も三股町生涯学習課と連携をとり、地域の子どもたちの工作教室や高齢者サロンでの製作活動を行います。

3. 2025年度の寄贈先

全国の視覚特別支援学校を対象に寄贈活動（予定では38校）を行います。